

口腔顎顔面外科学講座

プロフィール

1. 教室員と主研究テーマ

教授	柴原 孝彦	口腔粘膜疾患を見逃さないために ～蛍光観察装置（イルミスキャン）を使用して～
准教授	高木多加志	顎矯正手術の三次元シミュレーション精度に関する研究
講師	高野 正行	オトガイ形成不全症の機能的評価方法の確立
	大島 仁	歯科大学病院にクリニカルパスの検討
助教	薬師寺 孝	口腔粘膜疾患の非侵襲的診断法の確立
	神尾 崇	多次元医用画像データの 3D モデリングと診療支援
	渡邊 章	口唇裂・口蓋裂の発症原因の追求
	恩田 健志	早期に癌化する白板症を生検時に確実に判定し見逃さない
	成田 真人	BRONJ と骨代謝マーカーの相関性についての研究
	山本 雅絵	顎変形症における硬組織切削用超音波メスの統計学的検討
	右田 雅士	口腔がんにおける光線理力学療法の臨床応用
	山村 哲生	3D プリンターを用いた顎骨の再現とその精度についての検討
	吉田 秀児	ARONJ 指標確立を目的とした研究
	岩本 昌士	菌性感染症における膿汁の T-RFLP 解析
レジデント	大野 啓介	口腔蛍光観察装置の画像解析ソフトの確立
	森川 貴迪	口腔がんにおける Imaging biomarker としての FDG PET と予後の検討
	関根 理予	拡大内視鏡を用いた口腔扁平上皮癌診断法の確立 ～正診率の向上を目指して～
	川上 真奈	下顎骨関節突起骨折の臨床統計学的検討
	井本 大智	テトラサイクリンと蛍光観察装置を用いた薬物関連顎骨壊死に対する外科的療法の確立
	小郷 直之	The three-dimensional analysis and evaluation of orthognathic surgical cases with facial asymmetry.
	林 宰央	薬剤関連口腔粘膜炎に対する新規薬剤の開発
	長谷川大悟	疾患特異的 iPS 細胞を用いた Gorlin 症候群の病態機序の解明
	重野健一郎	MRI T2 mapping を用いた変形性顎関節症患者の下顎頭骨髄変化の評価
	前山 恵里	ヒト扁平上皮細胞を用いた iCSC の樹立
大学院生	左 右	過剰埋伏歯の臨床統計学的検討
	石田結実香	分子標的薬トラメチニブの口腔扁平上皮癌に対する効果の解明
	和田 朗	顎矯正手術における超音波診断法を用いた顎動脈の走行評価
	柴野 正康	次世代シーケンサーを用いた口唇裂・口蓋裂の遺伝子変異解析
	丸茂 知子	正常角化細胞と扁平上皮癌細胞の自家蛍光強度の比較検討と原因物質の特定

志賀 勇昭	アテロコラーゲンスポンジと自己組織化ペプチドハイドロゲルを用いた三次元培養
渡邊 美貴	唇顎口蓋裂における安全な Le Fort I 型骨切り術を行うための形態計測
角屋 貴則	治療戦略に決定に有用な分子生物学的マーカーの開発
有泉 高晴	人工神経開発を目指した実験的研究
山田 祥	顎変形症患者における顎矯正治療前後の顎関節の変化についての検討
関川 翔一	口腔扁平上皮癌における AMBP の発現異常
翁長 欣子	外科的矯正治療における三次元硬軟組織形態変化解析
鬼谷 薫	予後不良 Stage I / II 期舌がんに対する新規治療標的分子の探索
小坂井絢子	蛍光観察装置による口腔粘膜疾患の描出能解析
小杉 彩歌	4NQO 誘発ラット舌癌発生過程における蛍光観察装置を用いた輝度と病理学的関係の解析
松本 暢久	口腔扁平上皮癌におけるホスホジエステラーゼ阻害薬の抗腫瘍効果の判定
渡邊 豪士	疾患特異的 iPS 細胞を用いた McCune-Albright 症候群の病態の解明および治療法の確立
益田 遼	臨床応用を視野に入れた紫外線 LED の口腔癌への応用
奥平 貴人	McCune-Albright 症候群からの疾患特異的 iPS 細胞の樹立とその応用

2. 成果の概要

1) Radiation-induced Parotid Gland Atrophy in Patients with Head and Neck Cancer After Carbon-ion Radiotherapy

耳下腺は放射線感受性が高い臓器であり、放射線治療後の口腔乾燥症は頻度の高い副作用の一つである。頭頸部癌の放射線治療後の重篤な副作用として唾液腺障害が挙げられる。重粒子線治療（炭素イオン線）は、優れた線量分布形成が可能で、腫瘍に隣接した重要臓器の線量を軽減することが可能であり、重要臓器の多い頭頸部での意義は大きい。これまで粒子線における唾液腺障害は世界的に報告されていない。本論文は、炭素イオン線治療における正常耳下腺の耐用線量について評価を行ったものである。

93 耳下腺を検討し、照射後 2 年まで経過観察が可能であった症例を対象とし、線量分布 Dose-Volume-Histogram (DVH) より、患者背景・臨床因子・線量について臨床統計学的検討を行った。耳下腺障害は Grade 2 は 24.1%に留まり、また Grade 3 以上は認めなかった。耳下腺障害の単変量解析は、線量では 5、10、15 および 20 Gy RBE (V5、V10、V15 および V20)、平均線量、最大線量で有意な結果を得た。多変量解析では V5 が有意な因子であった。以上より炭素イオン線治療では、耳下腺の保護は十分にされているが、さらに QOL の向上のために耳下腺体積に 5Gy を 50%以下に軽減することが推奨されることが示唆された。炭素イオン線の耳下腺障害に対する新たな指標が示された。

ANTICANCER RESEARCH 36: 5403-5408 (2016) doi:10.21873/anticancerres.11116

2) ステージ I、II 期の早期舌癌に対して基本的には舌切除単独の手術療法が選択されるが、手術後に局所再発や後発頸部リンパ節転移を来す症例が認められ予後不良となることがある。各癌において浸潤転移にかかわる actinin-4 に着目し、早期舌癌に対して予

後予測因子になりうるかを調査した。国立がん研究センター中央病院頭頸部腫瘍科で2001年から2013年の期間に、ステージⅠ、Ⅱ期舌癌患者で術前補助療法を行わず舌切除単独で手術療法が選択され、局所再発症例及び切除断端陽性症例を除いた54例に対して、actinin-4のタンパク発現及びACTN4遺伝子の増幅の有無を調査した。年齢、及びACTN4遺伝子増幅は死亡に対するリスク因子となる結果が得られた。また、後発頸部リンパ節転移を来した12例に関して、Kaplan-Meier解析を行った結果、全生存期間においてACTN4陽性と陰性で優位差が認められた。この結果から、actinin-4は早期舌癌において後予測因子となることが示唆され、actinin-4タンパクの発現と遺伝子増幅を検索することは、個別化医療の推進につながると思われる。

Int J Oral Maxillofac Surg. 2017 Aug;46(8):968-976.

3. 学外共同研究

担当者	研究課題	学外研究施設		
		研究施設	所在地	責任者
柴原 孝彦 森川 貴迪	光学口腔粘膜観察装置の開発	株式会社松風	京都市	出口 幹人
柴原 孝彦	口腔粘膜疾患を見逃さないために～蛍光観察装置（イルミスキャン）を使用して～	株式会社松風	京都市	出口 幹人
高木多加志	硬組織用超音波切削機器 OSADA FALCON の改良	長田電気工業株式会社	東京都品川区	高木多加志
高木多加志	Temporary Anchorage Devices:TADs 関連機器の開発と改良	株式会社プロシード	東京都	大串 和幸
森川 貴迪	炭素イオン線における耐容線量確立のための正常耳下腺体積変化の研究	独立行政法人放射線医学総合研究所重粒子医科学センター病院	千葉市	高木 亮
柴原 孝彦 渡部 幸央 角屋 貴則 鬼谷 薫	口腔がん浸潤転移の分子機構の解析	国立がん研究センター研究所 創薬臨床研究分野	東京都中央区	本田 一文
柴原 孝彦 恩田 健志	癌化学療法により発現した口内炎に対する紫外線 LED 照射の有用性	国立長寿医療研究センター歯科口腔先進医療開発センター	大府市	角 保徳
柴原 孝彦 恩田 健志	タンパク質・ペプチド修飾解析による早期がん・リスク疾患診断のための血液バイオマーカーの開発	国立研究開発法人国立がん研究センター	東京都中央区	本田 一文

大野 啓介	口腔粘膜疾患に対する禁煙の効果： 多施設共同研究	岡崎市民病院・歯科 口腔外科	岡崎市	長尾 徹
-------	-----------------------------	-------------------	-----	------

4. 科学研究費補助金・各種補助金

研究代表者	研究課題	事業名
渡邊 章	口唇裂・口蓋裂の発症原因の追究	文部科学省科学研究費補助金・ 基盤研究(C)
恩田 健志	早期に癌化する白板症を生検時に確実に判定し見逃さない	文部科学省科学研究費補助金・ 基盤研究(C)
関根 理予	拡大内視鏡を用いた口腔扁平上皮癌診断法の確立 ～正診率の向上を目指して～	文部科学省科学研究費補助金・ 研究活動スタート支援

5. 研究活動の特記すべき事項

受賞

受賞者名	年月日	賞名	テーマ	学会・団体名
森川 貴迪	2016. 9. 3	優秀発表賞	光学機器による口腔粘膜疾患の解析	日本歯科医学会主催 第32回「歯科医学を中心とした総合的な研究を推進する集い」
森川 貴迪	2016.11	ANTICANCER RESEARCH for Exceptional Quality Paper	"Radiation-induced Parotid Gland Atrophy in Patients with Head and Neck Cancer After Carbon-ion Radiotherapy"	
関根 理予	2016.11.25	学術奨励賞	A Study on the Intrapapillary Capillary Loop Detected by Narrow Band Imaging System in Early Squamous Cell Carcinoma	第61回公益社団法人 日本口腔外科学会 総会・学術大会

シンポジウム

シンポジスト	年月日	演題	学会名	開催地
柴原 孝彦	2016. 4. 23	Odontogenic tumor	大韓口腔顎顔面外科学会	韓国
大野啓介	2016. 9. 24	口腔粘膜蛍光観察装置と画像解析ソフトを応用した口腔粘膜疾患の診断	日本口腔内科学会・日本口腔診断学会 合同学術集会	岡山県
柴原 孝彦	2016. 11. 26	改訂 position paper に則った対処法	日本口腔外科学会	千葉市
柴原 孝彦	2017. 3. 4	薬剤関連性顎骨壊死	日本有病者歯科医療学会	東京都

学会招待講演・特別講演・教育講演

講演者	年月日	演題	学会名	開催地
柴原 孝彦	2016. 6. 12	今後の歯科医療人としてしなくてはならない 臨床検査+口腔外科 噛んで食べることの表舞台	第 34 回日本顎咬合学会総会	千代田区
柴原 孝彦	2016. 9. 8	Odontogenic tumor	第 25 回国際口腔顎顔面外科学会	台湾
柴原 孝彦	2016. 10. 21	口腔粘膜蛍光観察装置を用いた口腔粘膜異常および疾患のトリアージへの試み	第 23 回日本歯科医学会総会	福岡
高野 正行	2016. 11. 5	How to educate the recent young doctor	korean association of maxillofacial plastic and reconstructive surgeons	韓国
柴原 孝彦	2016. 11. 10	Early diagnosis of oral cancer	アジア口腔外科学会 ACOMS	マニラ
柴原 孝彦	2016. 12. 18	顎骨壊死ポジションペーパー	第 36 回近畿北陸支部学術大会	富山
柴原 孝彦	2017. 1. 14	顎骨壊死検討委員会ポジションペーパー2016	有病者歯科医療学会 25 周年記念講演	東京

学術学会に相当しない団体が開催するセミナー・研究会・カンファレンス等における
発表・講演

講演者	年月日	演題	会合の名称	開催地
柴原 孝彦	2016. 4. 1	顎骨壊死検討委員会	大阪千里ライフサイエンス	大阪市
柴原 孝彦	2016. 4. 1	口腔がん検診指定歯科医師認定研修会	佐倉市歯会講演会	佐倉市
薬師寺 孝	2016. 4. 7	印旛郡歯科医師会佐倉地区口腔がん検診事業 第1回研修会「口腔がん発症のメカニズム」	印旛郡歯科医師会佐倉地区口腔がん検診事業	佐倉市
柴原 孝彦	2016. 4. 10	なぜ今、口腔がん	デジタルワン・フラッグシップ第一回	東京都新宿区
薬師寺 孝	2016. 4. 17	印旛郡歯科医師会佐倉地区口腔がん検診事業 第1回研修会「口腔がんの疫学と検診の有効性」「口腔がん発症のメカニズム」「検診の実際」	印旛郡歯科医師会佐倉地区口腔がん検診事業	佐倉市
柴原 孝彦	2016. 5. 8	なぜ今、口腔がん	デジタルワン東京・フラッグシップ第4回	東京都新宿区
柴原 孝彦	2016. 5. 12	口腔がん研修会	千葉市歯会	千葉市
柴原 孝彦	2016. 5. 14	公開講座	練馬区歯会	東京都練馬区
柴原 孝彦	2016. 5. 15	なぜ今、口腔がん	デジタルワン大阪・フラッグシップ第5回	大阪市
柴原 孝彦	2016. 6. 16	口腔がん研修会「アドバンスコース」	千葉市歯会	千葉市
薬師寺 孝	2016. 6. 16	千葉市口腔がん検診事業第2回研修会	千葉市口腔がん検診事業	千葉市
柴原 孝彦	2016. 6. 19	なぜ今、口腔がん検診	デジタルワン東京講演会	東京都新宿区

渡邊 章	2016. 6. 26	Matrix Round Table 2016 - Orthognathic Surgery Session 6 Bad Sprit	Matrix Round Table 2016	東京都
柴原 孝彦	2016. 6. 29	自治体による口腔がん検診 ー地域歯科医師会と協力してー	国立がん研究センター	東京都中央区
森川 貴迪	2016. 7. 7	薬剤・ビスフォスフォネート関連顎骨壊死に対する診断と対応	千葉病院医療連携協議会	千葉市
柴原 孝彦	2016. 8. 21	なぜ今、口腔がん	デジタルワン大阪・フラッグシップ	大阪市
森川 貴迪	2016. 9. 1	当科における早期舌扁平上皮癌の検討	3病院合同口腔がんカンファレンス	東京都千代田区
柴原 孝彦	2016. 9. 2	口腔がん アドバンスコース	渋谷区歯会	東京都渋谷区
薬師寺 孝	2016.09.07	千葉市口腔がん検診事業第3回症例検討会	千葉市口腔がん検診事業	千葉市
高木多加志	2016. 9. 13	不正咬合の治療におけるインターディシプリナリーアプローチ	練馬区歯科医師会学術講演会	東京都練馬区
薬師寺 孝	2016. 9. 16	第1回症例報告会「早期口腔がんと他の口腔粘膜疾患との鑑別」	印旛郡歯科医師会佐倉地区口腔がん検診事業	佐倉市
森川 貴迪	2016. 9. 16	視触診の復習	佐倉市口腔がん検診症例検討会	佐倉市
柴原 孝彦	2016. 9. 25	なぜ今、口腔がん	デジタルワン北海道・フラッグシップ	北海道
柴原 孝彦	2016. 9. 29	口腔粘膜は歯科の領域ー ー口腔単位を管理できる歯科医師のためにー	広島県呉市歯会	呉市
柴原 孝彦	2016.10. 1	口腔がん個別検診「越谷方式」を検証する ー鑑別すべき疾患と注意すべき病態ー	越谷市歯会	越谷市

柴原 孝彦	2016. 10. 9	「MRONJ・BRONJ」スタッフ と歯科医師	新居浜市歯科医師会	新居浜市
柴原 孝彦	2016. 10. 11	なぜ今、口腔がん検診	青森県上十三市歯科医 師会	上十三市
渡邊 章	2016. 10. 20	矯正治療と外科処置のコラ ボレーションを考える ーコルチコトミーを中心と してー	第 21 回秋季成人矯正学 会セミナー	東京都
高野 正行	2016. 10. 28 - 29	History of orthognathic surgery	Focused course for Principle in osteotomy	京都
高野 正行	2016. 10. 28 - 29	Orthognathic surgery versus distraction ostogenesis	Focused course for Principle in osteotomy	京都
柴原 孝彦	2016. 11. 15	今後の歯科医療人として知 らなければならない口腔外 科	練馬区歯会	東京都 練馬区
柴原 孝彦	2016. 11. 28	ITC バーチャルを用いた口腔 がん検診	世田谷区歯会	東京都 世田谷区
薬師寺 孝	2016. 12. 01	千葉市口腔がん検診事業第 6 回症例検討会	千葉市口腔がん検診事 業	千葉市
渡邊 章	2016. 12. 8	東京歯科大学口腔外科 唇 顎口蓋裂チーム - 理想的なチーム医療を目 指して -	橋橋会	東京
渡邊 章	2016. 12. 10	顎変形症手術におけるピッ トフォール ～私の工夫と リカバリー法～ 我々が行っている併発症予 防を考慮した顎変形症手術	第 202 回日本口腔外 科学会関東支部学術集 会	東京
柴原 孝彦	2017. 2. 19	口腔癌研修会	デジタルワン	東京
森川 貴迪	2017. 2. 24	口腔がんの治療	佐倉市口腔がん検診症 例検討会	佐倉市

柴原 孝彦	2017. 2. 27	Position paper 2016、 BRONJを再考する	米子歯会	米子市
吉田 秀児	2017. 2. 28	Pro Plan CMF トレーニング 基礎	Pro Plan CMF トレーニ ングセミナー	東京都 千代田区
吉田 秀児	2017. 3. 7	Pro Plan CMF トレーニング 応用	Pro Plan CMF トレーニ ングセミナー	東京都 千代田区
森川 貴迪	2017. 3. 11	光学機器による口腔粘膜疾 患の解析と応用	第3回 口腔粘膜蛍光 観察研究会	東京都 文京区
柴原 孝彦	2017. 3. 22	口腔がん報告会	千葉市歯会	千葉市

6. 教育講演等教育に関する業績、活動

教育に関する講演（医学・歯学における教育をテーマとするものに限る）

講演者	年月日	演題	学会・研究会・会議名	開催地
柴原 孝彦	2016. 5. 28	今後の歯科医療人として知ら なければならぬ口腔外科	東京歯科大学四国支部学 術講演会	徳島市
柴原 孝彦	2016. 6. 11	感染予防対策	千葉県保険医講習会	千葉市
柴原 孝彦	2016. 9. 24	献体に関する法令および倫理	第5回 Cadaver Surgical Training	札幌市
柴原 孝彦	2016. 10. 16	臨床下に必要な口腔がんの予 防・早期発見のために必要な 知識、スキル	JAOS 歯科感染管理者セ ミナー	東京都 千代田区
柴原 孝彦	2016. 10. 30	MRONJ・BRONJ	東京歯科大学愛媛セミナ ー	愛媛
柴原 孝彦	2016. 11. 6	顎骨壊死検討委員会による position paper	有病者歯科医療学会教育 研修会	金沢市
柴原 孝彦	2016. 12. 3	歯科診療所における感染症対 策	千葉県保健医協会	千葉市
岩本 昌士	2016. 12. 19	顎口腔領域化膿性炎症の診 断・処置と投薬の基本	大学院講義	東京都 千代田区
関根 理予	2016. 9. 15	拡大内視鏡を用いた早期口腔 癌診断について	大学院講義	東京都 千代田区

教育ワークショップ・FD 研修

講演者	年月日	ワークショップ名	役割	開催地
高野 正行	2016. 10. 29	医療事故調査制度ワークショップ	コーディネーター	大阪
渡邊 章	2016. 11. 5-6	OSCE ワークショップ	指導員	北海道

共用試験

氏名	年月日	種別	役割	開催地
高野 正行	2017. 2. 26	OSCE	評価者	千代田区
恩田 健志	2017. 2. 26	OSCE	評価者	千代田区
渡邊 章	2017. 2. 26	OSCE	評価者	千代田区
薬師寺 孝	2017. 2. 26	OSCE	評価者	千代田区
成田 真人	2017. 2. 26	OSCE	指導医役	千代田区
神尾 崇	2017. 2. 26	OSCE	評価者	千代田区
関根 理予	2017. 2. 26	OSCE	補助係	千代田区
森川 貴迪	2017. 2. 26	OSCE	補助係	千代田区
岩本 昌士	2017. 2. 26	OSCE	補助係	千代田区
右田 雅士	2017. 2. 26	OSCE	補助係	千代田区
山本 雅絵	2017. 2. 26	OSCE	評価者	千代田区
山村 哲生	2017. 2. 26	OSCE	補助係	千代田区
高野 正行	2017. 3. 3-4	OSCE	評価者	福岡市

他の大学・研究機関等における学生・大学院生を対象とする講義

担当者名	年月日	テーマ・演題	大学・機関	所在地
柴原孝彦	2016. 11. 19	顎骨壊死ポジションペーパー	信州大学口腔外科学学術講演会	松本市

7. 社会的貢献・社会に対する活動

鑑定書

鑑定人	年月日	種別（鑑定書）	依頼者
渡邊 章	2016. 11.27-12.3	ベトナム医療援助	特定非営利活動法人「東京発アジアの子どもたちに微笑みの輪を広げる無償医療ネットワーク」

医学の啓蒙を目的とする講演会（市民を対象とするもの）

講演者	年月日	演題	講演会名	開催地
大野 啓介	2016. 6. 11	口腔がん検診	三鷹市口腔がん検診	三鷹市
大野 啓介	2016. 9. 11	口腔がん検診	江戸川区口腔がん検診	東京都 江戸川区
前山 恵里	2016. 9. 11	口腔がん検診	江戸川区口腔がん検診	東京都 江戸川区
前山 恵里	2016. 6. 11	口腔がん検診	三鷹市口腔がん検診	三鷹市
大野 啓介	2017. 3. 5	口腔がん検診	江戸川区口腔がん検診	東京都 江戸川区
井本 大智	2017. 3. 5	口腔がん検診	江戸川区口腔がん検診	東京都 江戸川区

その他メディア等への掲載・出演

氏名	年月日	タイトル	掲載誌・放送局番組名・URL
柴原 孝彦		口腔がんのセルフチェック	公益財団法人 8020 推進財団会誌 「8020」 No. 16
柴原 孝彦		若い女性にも舌がんが増加！	朝日新聞出版 https://dot.asahi.com/dot/2016121500180.html
柴原 孝彦		専門医が教えるセルフチェック法	朝日新聞出版 https://dot.asahi.com/dot/2016121500048.html
柴原 孝彦	2017年 2月号	口腔がん検診	月刊 新医療

柴原 孝彦	2017 年 1 月 31 日号	口腔がん検診	女性自身 最新号
柴原 孝彦		蛍光	月刊 新医療
柴原 孝彦	2017 年	BRONJ の謎を解く	千葉県歯科医師会会報 299、28-31、2017
渡邊 章	2017 年 2 月号	口底部に発生する嚢胞性疾患 ガマ腫	小児歯科臨床